

環境学習会の報告

2018年11月29日（木）9時から11時まで、フォーマザー西立野保育園で0歳児を含めた園児約140名と教職員の方々と一緒に環境学習会を開催しました。

最初に浅羽代表から園児のみなさんに、ホッキョクグマの親子の写真を見ながら、地球温暖化で氷が少なくなってクマの親子が生活しにくくなっていると地球温暖化を分かり易く説明して、そうならないようにするために何が出来るとの話があり、みんな真剣に耳を傾けていました。



次は、メラニー・ウォルシュ作 絵本「わたしがぼくが、ちきゅうのためにできる10のこと」の絵本の読み聞かせです。

「人のいない部屋の電気は？」と問いかけに「消す。」と、「水道は流しっぱなしに？」と問いかけに「しない。」と、問い掛けの場面で返事をしてくれる子がたくさんいました。その他にも、「ゴミは分別して出す。」「書くときは紙の表も裏も使う。」「テレビは見終わったら消す。」など、園児のみなさんは、絵本のページをめくるごとに自分のこととして、絵本にある地球を守るための10の大切なことを体験することが出来ました。



読み聞かせの後には、手作りおもちゃの第1弾、ユリノキやヒマラヤスギ、ボダイジュなどの種（写真）を高く投げ上げて、回転して落ちてくる様子をみんなで楽しみました。

アオギリ



ユリノキ



ボダイジュ

ヒマラヤスギ



種がクルクル回るのを見て楽しんだ後はトイレ休憩となり、川口市環境会議のマスコット「地球くん」が登場しました。子どもたちはその登場にびっくり。子どもたちと地球くんは握手などをしながら、地球を守る話をしました。



その後、手作りおもちゃの第2弾、不要品利用のおもちゃ作りとして、短冊状の紙を使った回転して落ちてくる飛行体を作りました。まず、用意した短冊に好きな絵や色塗りやシールを貼ってもらい、先生やスタッフがはさみで切り込みを入れて、八の字の輪を作って高く放り投げると、あら不思議、ひらひらと回転しながらゆっくり落ちてくるではありませんか。紙を破ることもなく、みんな楽しく遊ぶことが出来ました。



工作の途中でちょっと休憩して、トトロの音楽に合わせて体操をしました。



次は、手作りおもちゃ第3弾、保育園の先生による乳パックを使用した「ゴムパッチン」です。保護者の方に依頼して集めた牛乳パックを再利用して、思い思いの絵を描いて、輪ゴムを掛けて「ゴムパッチン」を作りました。



ここまで、あっという間の楽しい2時間でした。

最後に、関理事からこの日の環境学習のまとめとして、「いつも私たちは太陽や木や水や空気などに囲まれて生きているので、地球を好きになろうね」とのお話がありました。



この後、子どもたち全員が屋上に上って、太陽光発電のパネルを見学し電気がこのパネルで作られていることを学んで、環境学習会を終了しました。



追伸

別添の「ちきゅうおんだんかのおはなし」のチラシ（A4 表裏白黒印刷の1枚）を作成し、園児のみなさんが家庭に帰って、今日のお話をお父さん、お母さんと出来るように、園長先生から配付していただきました。

以上